



山科区シンボルマーク

平成21年度山科区運営方針

～21世紀 躍動とふれあいのまち・山科区～



平成21年5月

京都市山科区役所

目 次

山科区民の皆様へ・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 1

1 区役所の果たす役割について・・・・・・・・・・P 2

- (1) 「山科区フロンティア計画」推進における区役所の役割
- (2) 「山科区運営方針」の主な推進体制

2 山科区の現状について・・・・・・・・・・P 3

- (1) 山科区の歴史
- (2) 山科区の地勢と現況
- (3) 山科区の統計データ
- (4) 山科区の抱える課題

3 まちづくりの目標について・・・・・・・・・・P 7

4 まちづくりの活動について・・・・・・・・・・P 1 1

- (1) 平成20年度の取組
- (2) 平成21年度の重点課題
- (3) 平成20年度及び21年度のまちづくりのまとめ（山科区役所の主な事業のみ）

（参考）山科区役所における平成21年度の“きょうかん”目標

表紙写真

左上：琵琶湖疏水（春），右上：勸修寺（夏），
左下：日向大神宮（秋），右下：毘沙門堂（冬）

山科区シンボルマーク（表紙右上）

山科区誕生30周年を記念して、平成18年度に公募、決定されました。

Yamashinaの「Y」をモチーフとして、芽生えた双葉から「緑」、取り囲む楕円形で「水」、その周りを巡る様で「歴史」が描かれており、また、斜めにするこ
とで躍動感を表し、山科区の進歩と発展を願っているものです。

山科区民の皆様へ

山科区では、「21世紀 躍動とふれあいのまち・山科区」の実現を目指し、長期的なまちづくりの目標として「山科区フロンティア計画」を策定し、区民・事業者・行政の三者がそれぞれの役割を認識し、計画の目標年次である平成22年に向けて着実な推進を図っているところです。

この度、平成21年度に山科区役所をはじめとする行政機関が重点的に取り組むべき項目などをまとめた「平成21年度山科区運営方針」を策定致しました。

今回策定した「山科区運営方針」では、四つの重点課題とその課題に対する具体的な取組などを掲げています。

これからも区民の皆様が歴史ある山科のまちを誇りに思っていただけのように、全職員が一丸となって、この方針に基づく様々な事業に取り組んで参ります。

今後とも、区民の皆様の一層の御理解と御協力をよろしくお願い致します。

山科区長 にし で よし ゆき
西 出 義 幸



山科区全景

1 区役所の果たす役割について

(1)「山科区フロンティア計画」推進における区役所の役割

山科区役所は、区民の皆様への最も身近な行政機関として、戸籍、住民票、印鑑登録、税務、国民健康保険、福祉、保健などの日常生活に欠かせない業務に適切、かつ、効率的に取り組んでいます。また、個性豊かで魅力あふれるまちづくりを区民の皆様とともに進める役割を担っています。

山科区では、平成22年までの10年間を計画期間とし、21世紀のまちづくりの指針となる、「山科区フロンティア計画」を、平成13年1月に策定しました。この計画は区民の皆様の「自分たちのまちは自分たちでつくる」という熱い思いを結実する形で策定されており、山科区を一層魅力あふれるまちとして発展させ、誰もがこの地に暮らすことを誇りに思えるまちとすることを目指しています。

その推進に当たっては、区民・事業者・行政の三者がそれぞれの役割を認識し、それぞれの立場で取組を展開する必要があります。

山科区役所では、区民の皆様とのパートナーシップの下、「山科区運営方針」に掲げる事業などを着実に実施し、「山科区フロンティア計画」に掲げる躍動とふれあいのまち山科区の実現を目指します。

(2)「山科区運営方針」の主な推進体制

区民の皆様とのパートナーシップにより「山科区フロンティア計画」、「山科区運営方針」に掲げる取組を推進するため、山科区長のリーダーシップの下、区内の各種団体との連携を一層強化し、行政サービスの更なる向上を図ります。

ア “やましな21” 推進会議

各種団体などの代表により構成されており、「山科区フロンティア計画」の五つの基本施策ごとに部会を設け、計画の進ちょく状況の把握や情報交換を行っています。また、「山科区フロンティア計画」の計画期間の後半5年間（平成18年～平成22年）については、より一層の推進を図るため、計画の中から24の重点目標を定め、各種団体ごとにと取組を進めることとしています。

イ 山科区行政推進会議

区行政の総合的な推進を図るため、区行政の状況把握を目的とした情報交換と区民の皆様からの要望などに基づく課題の解決に向けた分野横断的な協議・調整を行う機関として、区内行政関係機関の参画の下、設置しています。

ウ 山科区役所経営会議

区行政に係る施策・事業の企画立案を行うとともに、山科区役所における各種事業の効率的な執行を行うため、区役所内に設置しています。

エ 山科区“きょうかん”推進委員会

区民の皆様により「満足」していただける行政サービスの提供を目指して、市民応対窓口サービスの向上に取り組むために、山科区役所内に設置しています。

2 山科区の現状について

(1) 山科区の歴史

山科一帯は、既に、平安時代に山城国宇治郡山科郷という名で呼ばれていました。

古くは、縄文時代の人々の居住で知られる中臣遺跡、奈良・興福寺の前身である藤原鎌足創建の山階寺跡、万葉ロマンの世界をしのばせる鏡山・天智天皇陵のほか、紫式部ゆかりの勧修寺などの平安時代の数々の伝説を秘める社寺、中世日本を揺り動かした山科本願寺跡、江戸時代の旧東海道の遺跡など、各時代にわたる数多くの史跡、文化財があり、脈々と受け継がれてきた歴史をたどるのに大変恵まれた地です。

また、山科は大石内蔵助が討ち入り前に隠れ住んでいたといわれており、赤穂義士にまつわる史跡の数々が存在し、毎年12月の風物詩として、討ち入りなどを再現する「山科義士まつり」が多くの区民の皆様の参加の下、盛大に開催されています。

行政区の変遷としては、宇治郡山科町が昭和6年に京都市東山区に編入されました。その後、昭和26年の支所開所を経て、昭和51年10月に東山区からの分区・独立により、現在の山科区となり、平成18年に区誕生30周年を迎えました。

(2) 山科区の地勢と現況

山科区は、京都市の東端に位置し、西は東山連峰、北は大文字山、如意ヶ嶽、東は音羽山、牛尾山と三方を山並みに囲まれ、南で伏見区の醍醐地域に接している小さな盆地で、京の東の玄関口としての役割を担っています。

また、多くの川に恵まれ、安祥寺川、四ノ宮川、音羽川など、山々からの豊かな流れが、区の南部で山科川に合流しています。押し流されてきた土砂の恩恵を受け、平野部は農耕作物に適した土壌となっています。

明治初期に京都の近代化を目指して建設された琵琶湖疏水では、桜や紅葉のシーズンになると多くの人々が散策を楽しみます。

山科区の産業は、清水焼、京扇子、京仏具などの伝統産業に加え、金属箔、金属粉などの産業が発達し、伝統と最先端の技がほどよく調和しています。

都市基盤の面では、平成9年の地下鉄東西線の開通や、平成10年の山科駅前における「ラクト山科」のまちびらき、平成20年の阪神高速8号京都線の「稲荷山トンネル」の開通など、整備が進み、区民の生活利便性は更に向上しています。



天智天皇陵



やましなでら
山階寺跡推定地の碑

(3) 山科区の統計データ

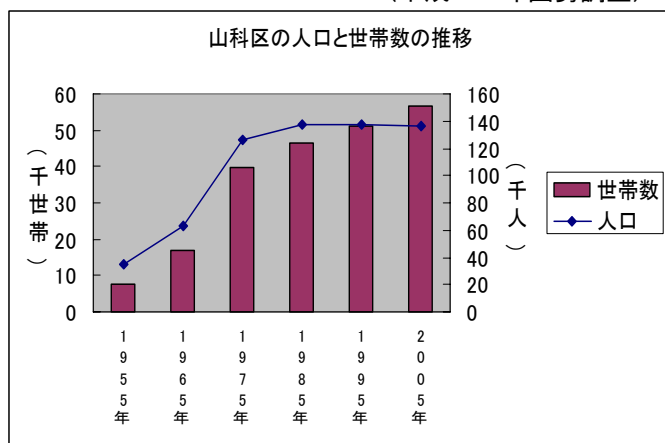
山科区の学区別人口、世帯数及び高齢化率(平成17年国勢調査)

	人口 (人)	男 (人)	女 (人)	世帯数 (世帯)	高齢化率 (%)
京都市	1,474,811	703,210	771,601	653,860	20.1
山科区	136,670	65,206	71,464	56,429	18.9
勧修学区	13,197	6,074	7,123	5,733	18.2
山階学区	7,315	3,361	3,954	3,481	19.6
鏡山学区	12,906	6,229	6,677	5,615	20.3
音羽学区	8,918	4,275	4,643	3,847	19.6
安朱学区	6,286	2,848	3,438	2,978	20.3
陵ヶ岡学区	11,384	4,996	6,388	4,461	33.9
大宅学区	18,419	9,497	8,922	7,167	15.6
山階南学区	10,219	4,986	5,233	4,037	16.3
百々学区	11,585	5,621	5,964	4,597	16.7
大塚学区	12,309	5,951	6,358	4,735	16.5
小野学区	10,474	4,993	5,481	4,039	13.5
音羽川学区	8,584	4,005	4,579	3,521	17.4
西野学区	5,074	2,370	2,704	2,218	20.7

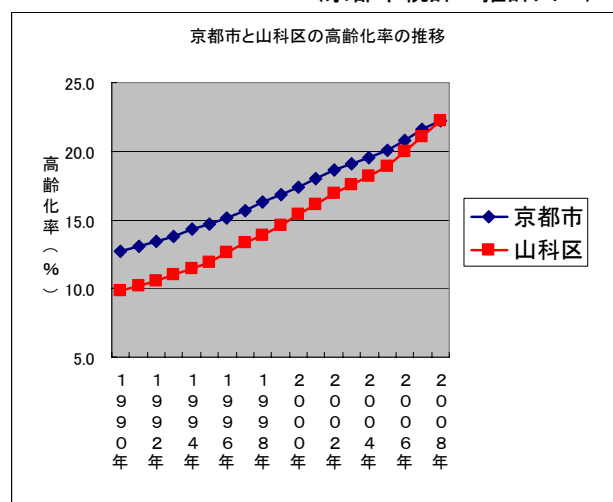
※ 「高齢化率」とは、65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合のことです。

(京都市統計 推計人口)

(平成17年国勢調査)



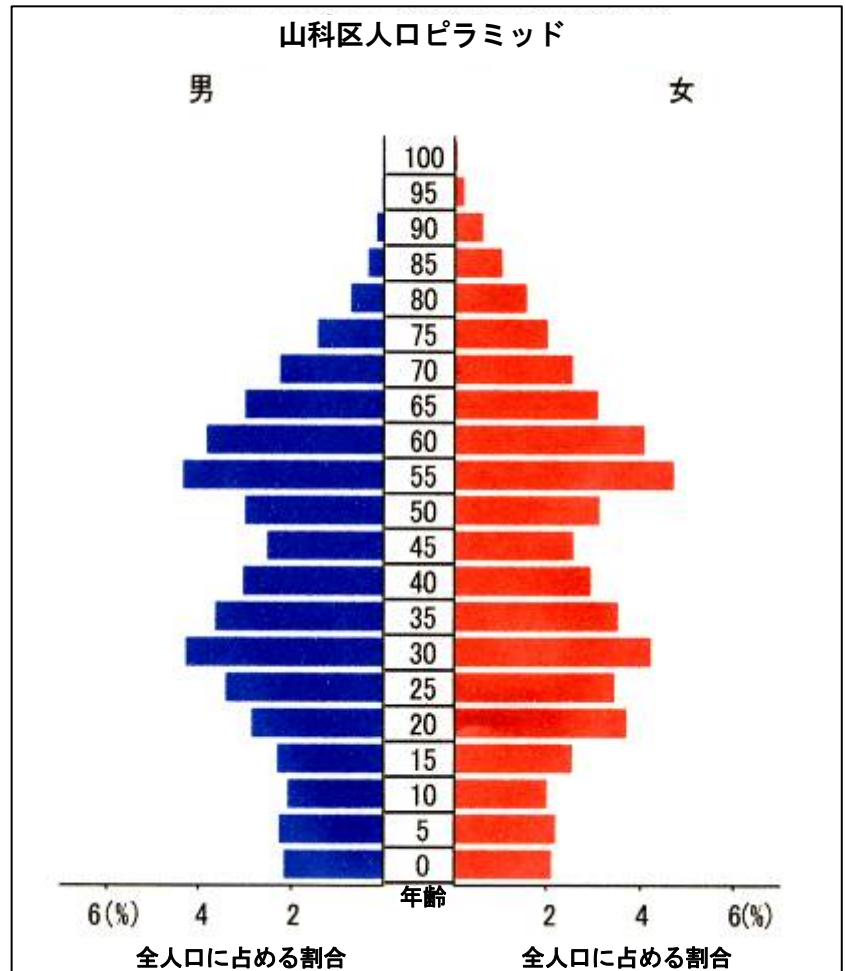
山科区の人口は、1975年以降横ばいとなっている一方、世帯数は増加傾向にあります。



高齢化が進み、2008年には区の高齢化率が市全体の高齢化率と並びました。

山科区の年齢5歳階級別人口（平成17年国勢調査）

	人口(人)		
	総数	男	女
総数	136,670	65,206	71,464
0～4 歳	5,789	2,915	2,874
5～9 歳	6,065	3,079	2,986
10～14 歳	5,540	2,831	2,709
15～19 歳	6,589	3,130	3,459
20～24 歳	8,945	3,895	5,050
25～29 歳	9,405	4,667	4,738
30～34 歳	11,659	5,851	5,808
35～39 歳	9,772	4,948	4,824
40～44 歳	8,155	4,139	4,016
45～49 歳	6,963	3,453	3,510
50～54 歳	8,374	4,097	4,277
55～59 歳	12,402	5,963	6,439
60～64 歳	10,826	5,214	5,612
65～69 歳	8,328	4,115	4,213
70～74 歳	6,497	3,064	3,433
75～79 歳	4,650	1,957	2,693
80～84 歳	3,075	959	2,116
85～89 歳	1,842	438	1,404
90～94 歳	1,014	200	814
95～99 歳	338	57	281
100 歳以上	49	8	41
年齢不詳	393	226	167
(再掲)			
15 歳未満	17,394	8,825	8,569
15～64 歳	93,090	45,357	47,733
65 歳以上	25,793	10,798	14,995



山科区の人口は、30代前半と、50代後半から60代前半の割合が多くなっています。

(4) 山科区の抱える課題

ア ベッドタウン化の進展と住民の居住要望の高まり

山科区はベッドタウンとして発展してきた地域です。

そして、近年の地下鉄東西線の延伸による交通利便性の更なる向上や、「ラクト山科」のオープンによるまちの拠点性の高まりは、今後も多くの人々の、住み続けたい、また住んでみたいという需要を高め、土地利用転換や新規開発などによる住宅建設は今後も続いていくと考えられます。

イ 問題を抱えた住宅市街地と改善に対する要望の高まり

幹線道路をはじめとする都市基盤整備が不十分であるため、慢性的な交通渋滞の発生や、住宅市街地への通過交通の流入、緊急時や防災面での不安、快適性や潤い不足などの居住環境に対する課題も抱えており、区民にとって、よりよい居住環境と生活利便の向上に対する要望は高いと考えられます。

ウ 福祉や交流を支える地域コミュニティの発展・継承

住民の転入や、高齢化・少子化の進展に伴い、住民相互の連携を基盤とした交流や福祉に対する要望も今後高まっていくと考えられ、これらを支える地域コミュニティ（地域単位の住民同士の連携）などをより発展・継承していくことが求められるところです。

エ 今ある資源を活用したまちの個性化と魅力化

山科区が現在持っている優れた自然・歴史・文化などの資源を活用しながら、更に隠れた資源や魅力を発掘していくことを通して、まちの個性化と魅力付けを行い、地域アイデンティティ（地域らしさ）を確立していくことが期待されます。

3 まちづくりの目標について

「山科区フロンティア計画」は「21世紀 躍動とふれあいのまち・山科区」を山科区の将来像とし、その実現のため、長期的なまちづくりの目標として「安心、快適、潤いのまちの基盤づくり」、「キラリと光る魅力を持ったまちづくり」、「パートナーシップで取り組むまちづくり」の三点を掲げています。

区民・事業者・行政の三者がそれぞれの役割を認識し、「山科区フロンティア計画」を協働で推進するために、平成13年9月、「“やましな21”推進会議」が発足しました。会議では計画に掲げられた五つの基本施策ごとに部会を設置し、計画の目標年次である平成22年に向けて計画の着実な推進を図っているところです。

そこで、「山科区フロンティア計画」に掲げられた五つの基本施策を、中期的なまちづくりの取組目標として位置付け、取組を進めています。

『山科区フロンティア計画』のあらまし

将来像

“21世紀 躍動とふれあいのまち・山科区”

まちづくりの目標

「安心、快適、潤いのまちの基盤づくり」
「キラリと光る魅力を持ったまちづくり」
「パートナーシップで取り組むまちづくり」

基本施策

- ① 安全で快適に暮らせるまちづくりの推進
- ② すべての人にやさしいまちづくりの推進
- ③ 水と緑と歴史に彩られたまちづくりの推進
- ④ 活気と魅力にあふれるまちづくりの推進
- ⑤ 心ゆたかな暮らしをおくれるまちづくりの推進

重点施策

- ① 環境にやさしい循環型のまちづくりの推進
- ② 地域コミュニティの発展・継承によるまちづくりの推進
- ③ 福祉のまちづくりの推進
- ④ 水と緑と歴史のプロムナードの整備
- ⑤ 快適な交通ネットワークの構築
- ⑥ モデル的まちづくりの推進

基本施策① 安全で快適に暮らせるまちづくりの推進

私たちが暮らしていくうえで、まず願うことは何でしょう。それは、安心して暮らしていけることです。しっかりとしたまちの基盤を作り、互いに心地よく住み続けていけるまちとなるよう、区民・事業者・行政が協力していくことが大切です。

- (1) 環境にやさしいまちづくりの推進
- (2) 災害に強いまちづくりの推進
- (3) 安心して生活できるまちづくりの推進

これまでの主な取組

- ・ 山科区2万人まち美化作戦の実施
- ・ 山科区エコアクション NO. 1 宣言の実施
- ・ 防火見回り活動の実施
- ・ 小金塚地域の安心・安全なまちづくりの推進



山科区2万人まち美化作戦

基本施策② すべての人にやさしいまちづくりの推進

山科区には、ここに住み・働き・学び・遊び・憩う多くの人々がいます。子どもやお年寄り、障害のある人もない人も、女性も男性も、国籍や民族、生まれや生い立ちに関係なく、すべての人々が交流を進めるなかで、互いに尊重し支え合いながら、生き生きと暮らしていけるようにすることが重要です。

- (1) 人権尊重のまちづくりの推進
- (2) 福祉のまちづくりの推進
- (3) 高齢者への支援
- (4) 障害のある人への支援
- (5) 子育て支援の環境づくり
- (6) 学校・家庭・地域の連携による子どもたちの育成
- (7) 地域医療と健康づくり
- (8) ボランティア活動の支援

これまでの主な取組

- ・ 特別養護老人ホーム（積慶園）の整備
- ・ やましな子育て支援連絡会の取組
- ・ 京都市営地下鉄全駅へのAEDの設置



地下鉄駅設置 AED

基本施策③ 水と緑と歴史に彩られたまちづくりの推進

山科区は、三方を山に囲まれ、市街地の中央を川が流れている自然豊かなまちです。また、人々の営々とした生活のうえに積み重ねられた素晴らしい歴史を持つまちです。これらの自然と歴史を継承・発展させていくことは、私たちの生活に潤いをもたらし、山科に暮らすことへの誇りにつながります。

- (1) 公園などの整備推進
- (2) 自然環境や農地の保全と活用
- (3) 水辺の歩行者ネットワークの整備
- (4) 歴史資源の保全と活用

これまでの主な取組

- ・ 山科区民さくら募金の実施（平成21年度から「山科区民花の回廊募金」に移行）
- ・ 山科区フラワーロード推進事業の実施
- ・ 未来へつなぐ「山科区民文化財（仮称）」の選定



山科区フラワーロード推進事業

基本施策④ 活気と魅力にあふれるまちづくりの推進

京都の東の玄関口である山科区は、古くから人々が集い交流を重ねてきたまちです。私たちの暮らしには、安らぎとともに、躍動するような活気も必要です。地理的に交通の要衝であるというだけでなく、「人々が集い、にぎわう、魅力あふれるまち」を育んでいくことが大切です。

- (1) 幹線道路網の整備の推進
- (2) 人と環境にやさしい交通体系の整備
- (3) 拠点地区の形成
- (4) 幹線道路沿道での都市的景観の創造
- (5) 新たなモデル的まちづくりの推進
- (6) 地域資源の観光活用の推進
- (7) 国家的研究機関の誘致の検討

これまでの主な取組

- ・ 阪神高速8号京都線「稲荷山トンネル」の開通
- ・ 新ブランド「en」の立ち上げ
- ・ 観光マップや観光案内板の作成



稲荷山トンネル開通記念イベント



新ブランド「en」の食器

基本施策⑤ 心ゆたかな暮らしをおくれるまちづくりの推進

今，私たちの寿命が延び，長い人生をいかに過ごしていくかということが大きな命題となってきました。また，地域社会の中で個々人の果たすべき役割が見直されています。私たちが，長い時間を経て培ってきた地域コミュニティを軸に，山科区の新しい文化を創造していくことがこれからの豊かな暮らしには必要です。

- (1) スポーツ・レクリエーションの振興
- (2) 生涯学習・文化活動の支援
- (3) コミュニティ活動の支援
- (4) NPO活動の支援
- (5) 地域情報の発信
- (6) 行政サービス機能の充実

これまでの主な取組

- ・ 暮らしの工房「三条街道わくわくホール」の設置
- ・ 京都橘大学による清水焼団地・商店街などの活性化に向けた取組への協力
- ・ 源氏物語千年紀事業「源氏物語の夕べ in 勧修寺」の実施



京都橘大学・清水焼団地による陶灯路の設置

4 まちづくりの活動について

(1) 平成20年度の取組

平成20年度に予算化し取り組んだ山科区の主な事業について紹介します。

重点課題① 住民参加で取り組むまちの魅力再発見

取組：未来へつなぐ「山科区民文化財（仮称）」の選定（継続）

【経過】

山科区には、美しい自然とともに歴史、文化、伝統、産業など、個性あふれるまちの魅力がありますが、これらの中には、人知れずそこにあるものや、時代の移り変わりとともに埋もれてしまったものもあります。

そこで、区民が親しみ誇りとし、未来に伝えたい山科の魅力を、「山科区民文化財（仮称）」として選定し、広く広報していくこととしました。

選定に当たっては、区民の自主的な活動力や情報力を生かし、山科の魅力を、有形、無形を問わず、幅広く募集することとし、公募区民、学識者などからなる委員会「山科魅力発見プロジェクト ―ええとこ・ええもん in 山科―」で協議、実施していきます。

【具体的取組】[担当課：区役所まちづくり推進課]

ア 「山科魅力発見プロジェクト」の設置

募集、選定について協議、実施するため、公募区民、学識者などからなる委員会「山科魅力発見プロジェクト」を設置しました。

イ 山科の魅力「ええとこ・ええもん」の募集

山科区民文化財候補として、区民が親しみ誇りにできる、未来に伝えたい山科の魅力「ええとこ・ええもん」を募集しました。

ウ 募集PRイベントの実施

山科の魅力「ええとこ・ええもん」の募集をPRするため、区内4コースを散策して山科の魅力を発見してもらう「山科の魅力発見ツアー」を実施しました。

重点課題② 地域の特徴を生かした観光資源の開発

取組：源氏物語千年紀事業「源氏物語のタベ in 勧修寺」の実施

【経過】

源氏物語の存在が、記録上確認されてから、平成20年に一千年を迎えることを受け、各種団体において、様々な記念事業が実施されました。

山科区においては、紫式部にゆかりのある史跡として「勧修寺」（勧修寺は醍醐天皇が母の藤原胤子（たねこ）を弔うために、胤子の母列子（たまこ）の実家である宮道邸を寺とした門跡寺院。列子は紫式部の四代前に当たる。）があります。また、この列子とその夫である藤原高藤（たかふじ）の山科での出会いは、今昔物語集に記されており、紫式部は、この話を参考に源氏物語の「明石の君」を書いたといわれています。

そこで、紫式部にゆかりのある門跡寺院「勧修寺」を中心とした記念事業を行うことにより、源氏物語の存在が確認されてから一千年を迎えるという記念すべき年のお祝いの機運を山科区においても一層高めるとともに、区民が山科区の魅力を再発見するための一助とし、情報発信を通じて観光客誘致につなげていくことを目的に、平成20年11月24日（月・祝）に次の取組を行いました。

【具体的取組】[担当課：区役所総務課]

ア 記念講演会

京都橘大学文学部の甲斐睦朗（かいむつろう）教授を招いて、勧修寺寝殿で「山科と源氏物語について」の講演会を実施しました。

イ 記念夜間拝観

勧修寺庭園において、紅葉のライトアップや非公開重要文化財の特別公開を行いました。

ウ 京都“やましな”で平安時代をめぐる

「山科の歴史を知る会」の山本正明会長の解説を聞きながら、小野周辺の随心院、宮道神社、勧修寺といった史跡をめぐるイベントを実施しました。

エ 陶灯籠設置

清水焼団地協同組合と京都橘大学の協力の下、勧修寺山門までの通路に清水焼の陶器を使用した陶灯籠を設置しました。

オ 和の演奏

勧修寺寝殿前を舞台に、京都橘大学箏曲部の学生による箏(こと)の演奏会を行いました。

カ 記念展示

勧修寺山門内において、山科の特産品や源氏物語千年紀記念品などの展示・販売を行いました。



紅葉のライトアップ（勧修寺にて）



京都“やましな”で平安時代をめぐる
（随心院にて）

重点課題③ 安心・安全のまちづくりの推進

取組：小金塚地域の安心・安全なまちづくりの推進（継続）

【経過】

小金塚地域は、地域内の道路、橋梁、公園のほぼすべてが私有地であるため、地元の負担により維持管理する状態が続いています。道路及び橋梁の地元負担を続けるなかで、地震などにより道路の損壊や橋梁の崩壊が生じた場合、地域住民の避難行動が制限され、大規模災害に至る恐れがあるなど、多くの課題が未解決となっています。

そこで、これらの問題を解決するべく、次の取組を行いました。

【具体的取組】[担当課：区役所まちづくり推進課、建設局道路明示課]

ア 私道の移管に係る測量への助成

小金塚自治連合会において、維持管理している道路を京都市の管理する道路とするため、道路用地の分筆のための測量が行われ、その費用に対して助成を行いました。

イ 「小金塚地域の安心安全のまちづくり計画」の策定

地域住民による「小金塚まちづくり計画策定委員会」において、地域の各種団体との協議や住民アンケートを基に、将来にわたって安心して住み続けるための指針となる「小金塚地域の安心安全のまちづくり計画」を策定しました。



小金塚地域全景

(2) 平成21年度の重点課題

山科区では、山科区基本計画推進組織「“やましな21” 推進会議」や山科区自治連合会連絡協議会総会「明日の山科を考える」での区民意見の集約状況を踏まえ、山科区行政推進会議において、山科区における行政重点課題の検討を行い、平成21年度に重点的に取り組むべき項目の抽出を行いました。

平成21年度は、山科区の重点課題として次のとおり抽出し、この課題解決のための施策に重点的に取り組みます。

～平成21年度山科区の重点課題～

重点課題① 美しいまちづくりの推進

重点課題② 観光振興によるまちづくりの推進

重点課題③ 安心・安全のまちづくりの推進

重点課題④ 次期山科区基本計画策定に向けた取組



山科区エコアクションNO.1 宣言
キックオフイベント



山科区民さくら募金植樹式

重点課題① 美しいまちづくりの推進

取組 1 山科区 2 万人まち美化作戦〔担当課：区役所まちづくり推進課〕

山科区自治連合会連絡協議会をはじめとする各種団体や、行政機関で構成する「市民ぐるみ運動山科区推進本部」の取組の一環で、平成 15 年度から、山科区自治連合会連絡協議会の主催により実施しています。

平成 21 年度も、約 2 万人の区民の皆様の参加により、学区内の一斉清掃、門掃き、違反広告物の撤去に取り組みます。

山科区を区民の皆様の手でごみのない美しいまちにし、まちの美化を全市に向けて広く情報発信していきます。

取組 2 山科区エコアクション NO. 1 宣言 2009〔担当課：区役所まちづくり推進課〕

京都市内で最もエコアクションが進んだ行政区を目指し、平成 20 年度から、山科区自治連合会連絡協議会の主催により、各家庭における地球温暖化対策や 2R（ごみの発生抑制、再使用）の推進を図る取組を行っています。

平成 21 年度についても継続してエコアクションの取組を推進していきます。

取組 3 山科区フラワーロード推進事業〔担当課：区役所まちづくり推進課〕

公募した区民ボランティア（「花と緑のまちづくりサポーター」）により、花と緑あふれる潤いのある山科区のまちづくりを目指して、区役所前広場の花壇を季節ごとに整備するほか、各地域の花づくりグループと連携した道路脇への花の植栽などを行います。

取組 4 山科区民花の回廊募金〔担当課：区役所まちづくり推進課〕

「山科区フロンティア計画」に掲げる「桜の回廊ネットワーク」の実現に向け、平成 14 年度から「山科区民さくら募金」を実施しており、山科川左岸の遊歩道に毎年概ね 10 本計 68 本の桜の苗木を約 800 メートルにわたって植樹しました。

平成 21 年 2 月からは「山科区民さくら募金」を発展させ、それぞれの地域に彩りを添える花を選定し、花の回廊の整備を行う「山科区民花の回廊募金」を実施しています。

取組 5 バイオマス利活用の推進〔担当課：環境政策局循環企画課〕

平成 20 年 10 月から、家庭から出る生ごみを分別し、バイオガス化して活用していく実験を市内 11 行政区、約 2,200 世帯（山科区においては約 400 世帯）で実施するとともに、地域で発生した生ごみを堆肥化し、地域で有効利用する地産地消の取組を約 200 世帯で実施しています。

平成 21 年度についても、継続してバイオマス利活用の推進を図っていきます。

重点課題② 観光振興によるまちづくりの推進

取組 1 「山科観光ウィーク（おこしやすやましな週間）」（仮称）の創設〔担当課：区役所総務課〕

秋の観光シーズンに「山科観光ウィーク」（仮称）を設定し、その期間は地域を挙げて観光振興に取り組む期間と位置付け、以下の関連イベントを集中的に実施することにより、山科区の観光資源の認知度を高め、観光客の誘致を図ります。

- 1 「平安ロマンの道～勧修から小野の小径～」（仮称）の実施（勧修寺のライトアップなど）
- 2 キャンペーンの実施（東京の京都館や京都市中心部へのキャラバン隊の派遣など）
- 3 地下鉄利用者を対象とした共通割引企画の実施（区内の寺社の拝観料割引など）

取組 2 「京都観光一日乗車券【山科・醍醐拡大版】」の販売促進の取組〔担当課：交通局企画課，区役所総務課〕

期間限定（平成21年5月1日～平成21年12月23日）で発売している「京都観光一日乗車券【山科・醍醐拡大版】」の販売促進のための取組を行い、山科区の観光振興の推進につなげていきます。

取組 3 未来へつなぐ「山科区民文化財（仮称）」の選定〔担当課：区役所まちづくり推進課〕

区民が親しみ又は誇りとして、未来に伝えたいと思う山科の魅力を、区民の自主的な活動を活かして選定し、「山科区民文化財（仮称）」として発表するとともに、広くその魅力を伝えていきます。平成21年度は応募された山科の魅力「ええとこ・ええもん」の中から、「山科魅力発見プロジェクト」において、文化財を選定し、選定された文化財を解説した印刷物を編集、発行します。

取組 4 「歩いて楽しい」観光案内標識の整備・充実〔担当課：産業観光局観光企画課〕

公共交通機関の駅やバス停を拠点とし、観光地への方向や距離を示した観光案内標識の新設や、既存の観光案内標識との連携により、ネットワーク化を進め、歩いて楽しむ観光客の視点に立った分かりやすい案内を行います。

重点課題③ 安心・安全のまちづくりの推進

取組 1 小金塚地域の安心・安全なまちづくりの推進〔担当課：区役所まちづくり推進課，建設局道路明示課〕

平成19年度から，私道の移管に向けた分筆のための測量費用に対する助成を行っています。また，平成20年度に策定された「小金塚地域の安心安全のまちづくり計画」の取組のうち，小金塚自治連合会が中心となり，重点的かつ優先的に進める重点プロジェクトの取組に対し，協議や助言を行い，協働でまちづくり計画の推進を行います。

取組 2 安心・安全ネットワーク形成事業〔担当課：区役所まちづくり推進課，文化市民局地域づくり推進課〕

「地域の安心安全ネットワーク形成指針」に基づき，幅広い地域の安心と安全の確保に取り組む横断的・総合的なネットワークの構築を進めます。

山科区内の状況：17年度	山階南	18年度	山階，安朱，小野
19年度	勧修，陵ヶ岡，大塚	20年度	音羽，西野
21年度	鏡山，百々	22年度	大宅，音羽川

取組 3 野生鳥獣対策〔担当課：区役所まちづくり推進課，文化市民局地域づくり推進課，産業観光局東部農業指導所，産業観光局林業振興課〕

近年，区役所に寄せられている野生鳥獣による生活環境被害について，地域住民が主体となった追払い活動の支援や檻の設置による捕獲などを行います。特にサルについては，平成17年度から，地域住民及び関係機関とともに「猿害対策チーム」を設立し，出没情報の連絡や追払いの支援を行っており，今後もより一層地域住民と連携して取組を進めます。

取組 4 児童館整備〔担当課：保健福祉局児童家庭課〕

- ・ 西野小学校敷地を活用した西野児童館（仮称）の新設整備を行います。（平成20年度設計，平成21年度整備）
- ・ 音羽小学校余裕教室を活用した音羽児童館（仮称）の新設整備を行います。（平成21年度設計，平成22年度整備予定）

取組 5 鏡山小学校の耐震化PFI事業〔担当課：教育委員会教育環境整備室〕

近年の工法の進歩により，これまで改築以外では耐震性を確保できないと考えられていた校舎について，耐震改修による対応が可能となったことから，全国で初めて，PFI手法を用いた耐震補強工事を実施します。

平成22年度の施工へ向け，平成21年度は事業者選定などの手続を進めます。

取組 6 山科市営住宅トータルリモデル事業〔担当課：都市計画局すまいまちづくり課〕
山科市営住宅 3 棟西棟の改善工事に着工します。

工事については、住宅の既存構造体を利用し、内装設備更新、高齢化対応、外壁屋上断熱改修及び一部住戸の規模増（3 戸を 2 戸に改善）などを実施します。

（概要）平成 21 年度着工，平成 22 年度竣工予定

構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 1 1 階建

建設戸数 改善前 187 戸 → 改善後 172 戸

取組 7 交通安全施設整備事業〔担当課：建設局調整管理課，建設局東部土木事務所〕

- ・ 安祥寺川沿いの通学路となっている狭隘な道路において，張出し歩道を整備するため，測量設計などを実施します。
- ・ 音羽小学校の北側に接する道路において，歩道を整備するため，測量などを実施します。
- ・ ホッパラ市営住宅付近の急カーブで見通しの悪い道路において，見通し改善のための工事を施工します。

取組 8 道路改良〔担当課：建設局調整管理課，建設局東部土木事務所〕

日ノ岡夷谷町地内の渋谷蹴上線において，法面からの落石対策を検討するため，測量調査などを実施します。

取組 9 閑林寺橋橋梁補修事業〔担当課：建設局道路建設課〕

第三次緊急輸送道路上に位置し，山科川に架かる閑林寺橋の耐震補強及び補修工事を行い，平成 21 年度については調査設計を行います。

取組 10 高岩橋及び天神橋橋梁補修事業〔担当課：建設局道路建設課〕

名神高速道路上に架かる跨道橋における，橋上からの自動車の逸脱による二次的被害の防止を目的とした防護柵補強及び橋梁補修を行い，平成 21 年度については調査設計を行います。

取組 11 一般市道小山大宅線道路改良事業〔担当課：建設局道路建設課〕

一般市道小山大宅線付近に新設予定のトンネルの開通による影響を把握するため，交通量及び環境調査事業を行います。

取組 12 都市基盤河川整備〔担当課：建設局河川整備課〕

- ・ 旧安祥寺川については，過去に J R 東海道本線から上流部などで浸水被害が発生しており，これを解消するため改修を行います。平成 21 年度については，J R 西日本への施工委託により，J R 西日本が，平成 22 年度からの工事のための積算業務に着手します。
- ・ 西野山川については，平成 16 年 8 月に浸水被害が発生したため，その被害を抑制する目的で平成 18 年度から優先的に本川の改修を行っています。平成 21 年度については，本川の用地取得及び事前の物件調査を行います。

取組 1 3 疏水路改修工事〔担当課：上下水道局施設課〕

老朽化した施設改修のため、蹴上洗堰の躯体改修及び疏水路右岸斜面の補強対策を実施します。

取組 1 4 新山科浄水場整備など〔担当課：上下水道局施設課〕

地震対策としての低区配水池緊急遮断弁の整備や、環境に配慮した太陽光発電設備の設置などを行います。

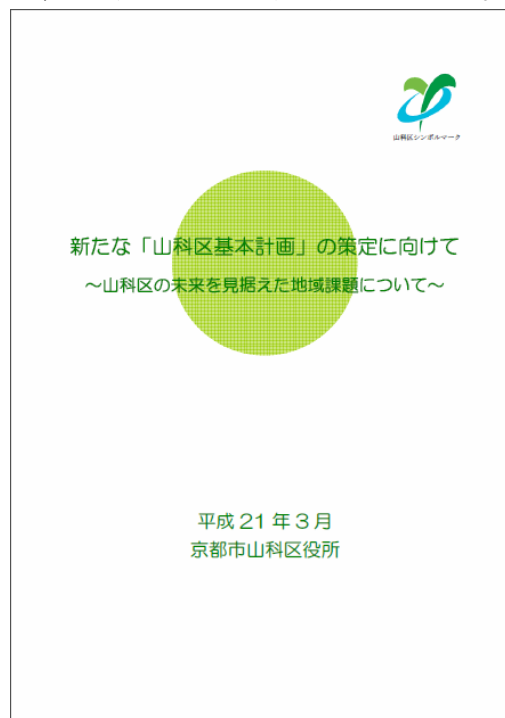
取組 1 5 山科処理区安祥寺系統日ノ岡支線（その3）公共下水道工事〔担当課：上下水道局設計課〕

山科区日ノ岡坂脇町他地内に下水道施設（污水管）を整備し、生活環境の向上を図ります。

重点課題④ 次期山科区基本計画策定に向けた取組

取組 1 次期山科区基本計画策定に向けた取組〔担当課：区役所総務課〕

平成23年からの10年間を計画期間とする次期山科区基本計画策定に向けて、平成20年度に設置した地域課題抽出会議での議論を踏まえ、山科区基本計画策定委員会を設置し、次期計画の素案を作成します。



地域課題抽出会議での意見などをまとめた冊子

(3) 平成20年度及び21年度のまちづくりのまとめ（山科区役所の主な事業のみ）

重点課題	番号	平成21年度の実施		平成20年度の実施		所属
		実施名	目標	実施名	実績	
美しいまちづくりの推進	①	山科区2万人まち美化作戦	参加者 約2万人	山科区2万人まち美化作戦	参加者 約2万人	まちづくり 推進課
	②	山科区エコアクションNO.1宣言2009	1,250世帯参加	山科区エコアクションNO.1宣言	938世帯参加	まちづくり 推進課
	③	山科区フラワーロード推進事業	約3,500株植栽	山科区フラワーロード推進事業	約3,000株植栽	まちづくり 推進課
	④	山科区民花の回廊募金	植栽場所選定、実施	山科区民さくら募金	ソメイヨシノ3本植栽	まちづくり 推進課
観光振興によるまちづくりの推進	⑤	「山科観光ウィーク（おこしやすやましな週間）」（仮称）の創設	参加者 約1,800人	源氏物語千年紀事業「源氏物語の夕べin勧修寺」の実施	参加者 約600人	総務課
	⑥	未来へつなぐ「山科区民文化財（仮称）」の選定	選定、印刷物作成	未来へつなぐ「山科区民文化財（仮称）」の選定	委員会設置、募集	まちづくり 推進課
安心・安全のまちづくりの推進	⑦	小金塚地域の安心・安全なまちづくりの推進	取組支援	小金塚地域の安心・安全なまちづくりの推進	計画策定	まちづくり 推進課
	⑧	安心・安全ネットワーク形成事業	11学区実施	安心・安全ネットワーク形成事業	9学区実施	まちづくり 推進課
	⑨	野生鳥獣対策	追払い支援及び捕獲檻設置	野生鳥獣対策	猿害対策チームに6学区74名参加、イノシシ45頭捕獲	まちづくり 推進課
次期山科区基本計画策定に向けた取組	⑩	次期山科区基本計画策定に向けた取組	素案作成	次期山科区基本計画策定に向けた取組	地域課題などの抽出	総務課

(参考) 山科区役所における平成21年度の“きょうかん”目標

※ 「“きょうかん”目標」とは、より高品質で満足度の高いサービスの提供はもとより、更なる職員の意識改革と職場風土の刷新を図るため、すべての職員が自己の業務の役割を点検し、所属ごとに設定した目標のことで、この目標を所属職員全員で共有し、達成に向けて取り組んでいきます。

所属名	所属の目標
区民部 総務課	1 市民からの問い合わせに的確・迅速に回答できるよう、区役所業務に係るQ&Aを作成し、自己研鑽に努めます。 2 事務の効率化を図り超過勤務の縮減に努めます（課全体の超過勤務時間数の前年度比－20%を目標とします）。 3 事務処理の正確性を担保するため確認作業の励行を徹底します。
“ まちづくり推進課	1 区民の皆様の目線に立って、笑顔、迅速、丁寧、正確な対応に努めます。 ・ 電話は、3コールまでに出ます。 ・ 庁舎内でお困りの方を見かけたら、積極的にお声掛けをします。 2 市政に関する知識を深めることにより、より良い区民サービスを提供できるように努めます。 3 課内の整理整頓をより一層行うことにより、業務の効率化を推進するとともに、窓口に来られた区民の皆様に不快感を与えないよう努めます。 4 職場ミーティングを開催するなど、常に情報を共有することにより、業務の円滑な遂行に努めます。
“ 市民窓口課	1 笑顔を忘れず、お客様へのあいさつを徹底します。 2 お客様の求めに的確に応じられるよう、受付や書類作成を担当した職員のサイン記入を徹底するなど、ミスの防止に全力を挙げて取り組みます。 3 電話のベルが鳴ったら3回以内に受話器を取ります。
“ 市民税課	市民の皆様が目線に立ち、親切、丁寧、そして迅速な良質のサービスの提供に努めます。特に、来庁される方に対するお声掛けや窓口の案内などについては、留意します。
“ 固定資産税課	課税内容の説明時に、納税者の立場に立って、専門用語を可能な限り平易な言葉に置き換えて分かりやすい説明に努め、納税者からの専門用語についての聞き返し回数を限りなくゼロに近づけます。
“ 納税課	目標徴収率の達成を目指します。迅速に電話及び窓口対応を行います。
福祉部 福祉介護課	1 区民対応については、丁寧で親切的な対応を心掛け、あいさつや声掛けを積極的に行っていくとともに、分かりやすい説明を心掛けていきます。 2 業務の執行については、適正で正確な処理を心掛け、そのために必要な業務知識の習熟や情報収集にも努めていきます。
“ 支援課	1 他の課が所管する業務についても数多くの問い合わせがあるので、市民の皆様の手を十分聞き取り、的確に案内できるよう一層努めます。 2 市民の方差し出す文書については、問い合わせ先として「担当窓口」や「担当者名」を明記します。

〃 保護課	市民の立場に立って，制度について懇切丁寧で分かりやすい説明を行います。
〃 保険年金課	担当業務外の知識も幅広く身に付け，的確で迅速な応対に努めます。
保健部 健康づくり推進課	「市民応対は，誠実・丁寧に」一笑顔であいさつ，積極的に声掛けをしよう— 1 待合コーナーや廊下での応対 保健所のコーナーに来られたら，職員から進んで用件を尋ね，担当窓口を案内します。 2 カウンターでの応対 着席を勧めます。 3 電話応対 電話を受けた際は，保健所名，担当名及び氏名を先に名乗って応対します。 4 保健所コーナーの整理 掲示物の破損や期限などをこまめにチェックし，良好な所内環境に努めます。
〃 衛生課	「市民応対は，誠実・丁寧に」一笑顔であいさつ，積極的に声掛けをしよう— 1 待合コーナーや廊下での応対 保健所のコーナーに来られたら，職員から進んで用件を尋ね，担当窓口を案内します。 2 カウンターでの応対 着席を勧めます。 3 電話応対 電話を受けた際は，保健所名，担当名及び氏名を先に名乗って応対します。 4 保健所コーナーの整理 掲示物の破損や期限などをこまめにチェックし，良好な所内環境に努めます。

平成 2 1 年度山科区運営方針

平成 2 1 年 5 月

山科区役所区民部総務課企画広報担当

〒 607-8511 京都市山科区柳辻池尻町 14-2

TEL 075-592-3066 FAX 075-502-1639

URL <http://www.city.kyoto.lg.jp/yamasina/index.html>